

# 2008年12月期中間決算説明会

2008年8月6日

We  "Water Planet"

*Coca-Cola*

三国コカ・コーラボトリング株式会社

Mikuni Coca-Cola Bottling Co., Ltd.

連絡先： 経営企画部法務IR課

TEL 048-774-3131

FAX 048-774-1400

# 目次

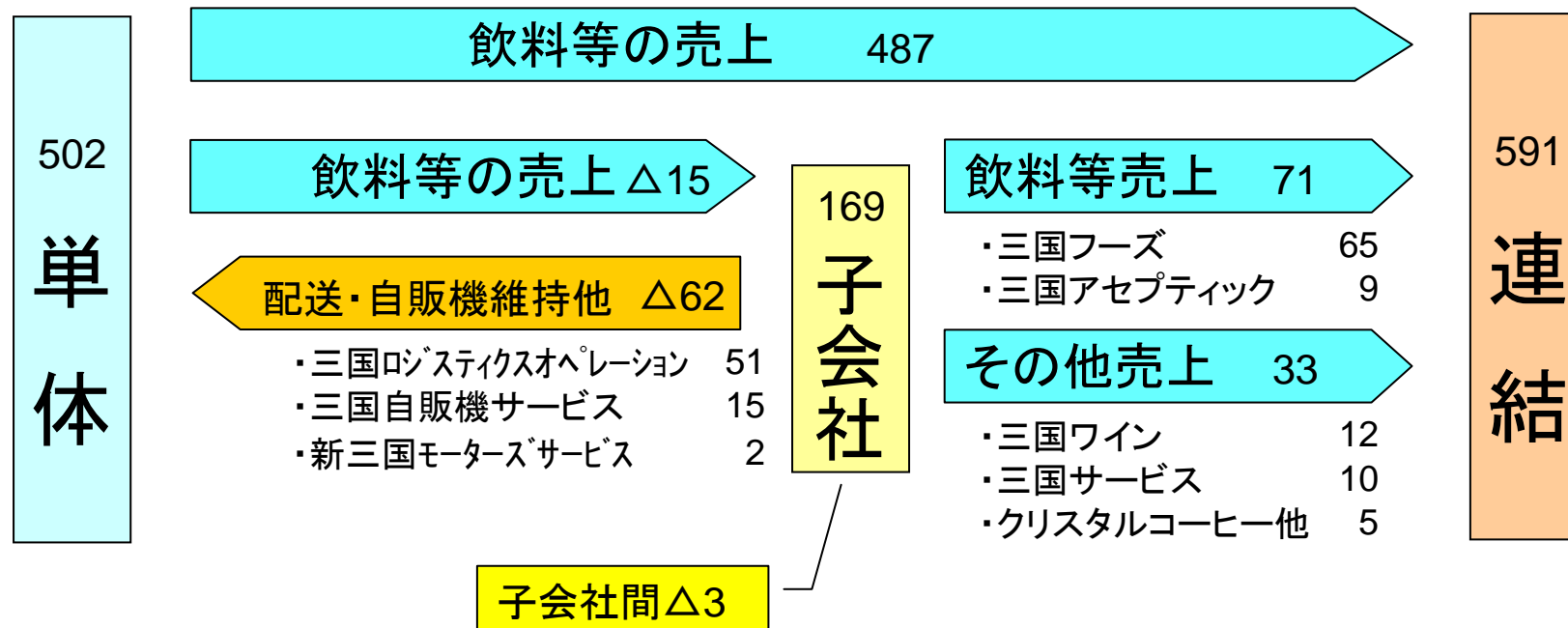
I. 2008年12月期中間決算		IV. 下期の重点活動	
1. 決算の概要	4	1. フルサービスチャネル	20
II. 上期の活動結果		2. スーパーチャネル	22
1. サマリー	9	3. 酒・食品店	23
2. 重点チャネル／ブランド実績	11	4. オリンピックキャンペーン	24
3. フルサービスチャネル	12	5. ジョージア対策	25
4. スーパーチャネル	13	6. コスト削減	26
5. ジョージア	16	7. 営業利益獲得計画(単体)	27
III. 通期計画	17	8. 営業利益獲得計画(連結)	28
		V. 中期経営計画の進捗	29
		VI. 株主還元策	33

# 1. 2008年中間決算

# 1. 事業の全体像

Jump!!!

(売上高単位:億円)



## 《 单体業績 》

	08年上期	07年上期	増減
営業利益	874	1,236	△ 362
経常利益	1,442	1,905	△ 463
純利益	1,003	1,121	△ 118

## 《 連結業績 》 (単位:百万円)

	08年上期	07年上期	増減
営業利益	1,306	1,718	△ 412
経常利益	1,324	1,775	△ 450
純利益	706	903	△ 197

## 2. 単体・連結の業績

**Jump!!!**

### 単体

単位：百万円、千ケース、%

	2008年 上期実績	2007年 上期実績	前年比		2008年 上期計画	計画比	
			増減	増減率		増減	増減率
販売数量	26,465	26,735	-269	-1.0	27,474	-1,009	-3.7
売上高	50,244	49,941	303	0.6	53,300	-3,055	-5.7
営業利益	874	1,236	-362	-29.3	1,400	-525	-37.5
経常利益	1,442	1,905	-463	-24.3	1,900	-457	-24.1
中間純利益	1,003	1,121	-118	-10.6	1,300	-296	-22.8

※2008年は販売手数料及び販促費の会計処理を変更しております。  
そのため、2007年を2008年ベースに引きなおして比較しております。

### 連結

単位：百万円、%

	2008年 上期実績	2007年 上期実績	前年比		2008年 上期計画	計画比	
			増減	増減率		増減	増減率
売上高	59,135	60,214	-1,078	-1.8	61,800	-2,664	-4.3
営業利益	1,306	1,718	-412	-24.0	2,000	-693	-34.7
経常利益	1,324	1,775	-450	-25.4	2,000	-675	-33.8
中間純利益	706	903	-197	-21.9	1,100	-393	-35.8

### 3. 対前年増減主要因

Jump!!!

#### ■ 単体上期

(単位: 億円)

※08年は販売手数料及び販促費の会計処理を変更しております。  
そのため07年実績を08年ベースに引きなおし比較を実施しております。

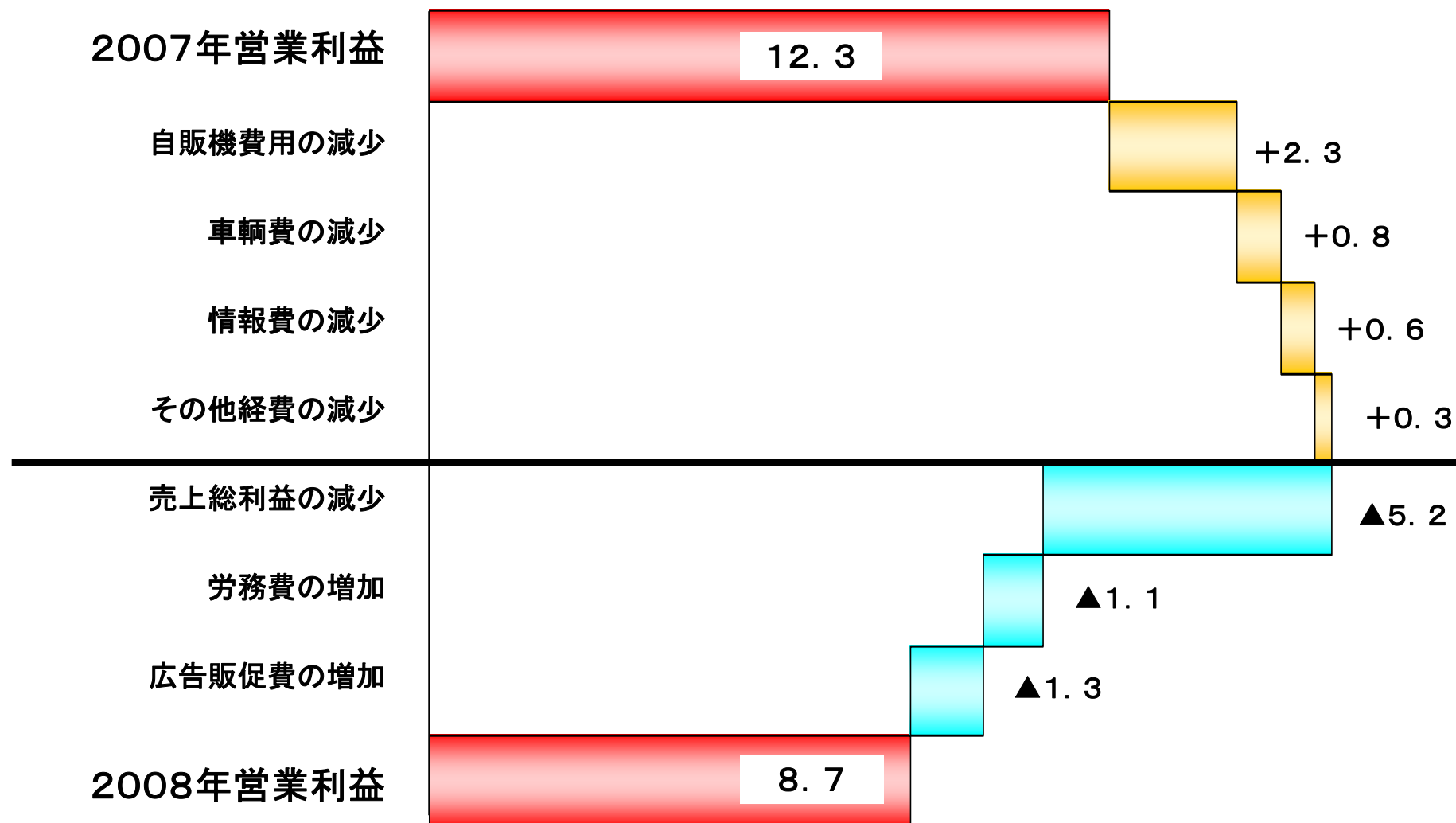
	増減額	増減要因	増減額	'08年	'07年
売上高	3億円 (499→502)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数量減少(△269千ケース)及び単価・構成差等</li> <li>・在庫一元化によるフーズ社向け売上など</li> </ul>	△9.7億円 12.7億円	502	499
売上総利益	△5.2億円 (206→201)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上総利益の減少</li> <li>数量減少(△269千ケース)及び単価・構成差等</li> </ul>	△5.2億円	201	206
営業利益	△3.6億円 (12→8)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販管費の増減</li> <li>－自販機費用の減少</li> <li>－労務費の増加</li> <li>－広告販促費の増加</li> <li>－車両費の減</li> <li>－情報費の減</li> <li>－その他経費の減</li> </ul>	1.6億円 2.3億円 △1.1億円 △1.3億円 0.8億円 0.6億円 0.3億円	192 30 39 19 2 3 96	194 32 38 18 3 4 96
経常利益	△4.6億円 (19→14)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営業外損益の減少</li> <li>－営業外収益の減少(子会社等配当金の減少△1.2億円他)</li> <li>－営業外費用の減少</li> </ul>	△1.0億円 △1.1億円 0.1億円	5 7 2	6 8 2
中間純利益	△1.2億円 (11→10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別損失の減少</li> <li>・法人税等の減少</li> </ul>	2.7億円 0.7億円	0 4	△2 5

# 4. 対前年営業利益増減内訳（単体）

Jump!!!

■ 単体上期

(単位:億円)



## II. 上期の活動結果



# 1. サマリー

*Jump!!!*

## ・ 個人消費の落ち込み

原油高・食料品高

個人消費の落ち込み

ちょっとした日用品の買い控え・外食の減少

スーパー・シロップマーケットに悪影響

# 1. サマリー

**Jump!!!**

- 天候不順（月別前年差：熊谷）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	上半期	
平均気温	-1.3	-3.2	+0.2	+1.3	-0.9	-1.6	-1.0	°C
日照時間	-14.0	+3.0	-37.9	+5.6	-91.3	-54.1	-188.7	時間
降水量	-14.0	+15.0	+37.0	+96.0	+48.5	+60.0	+242.5	mm

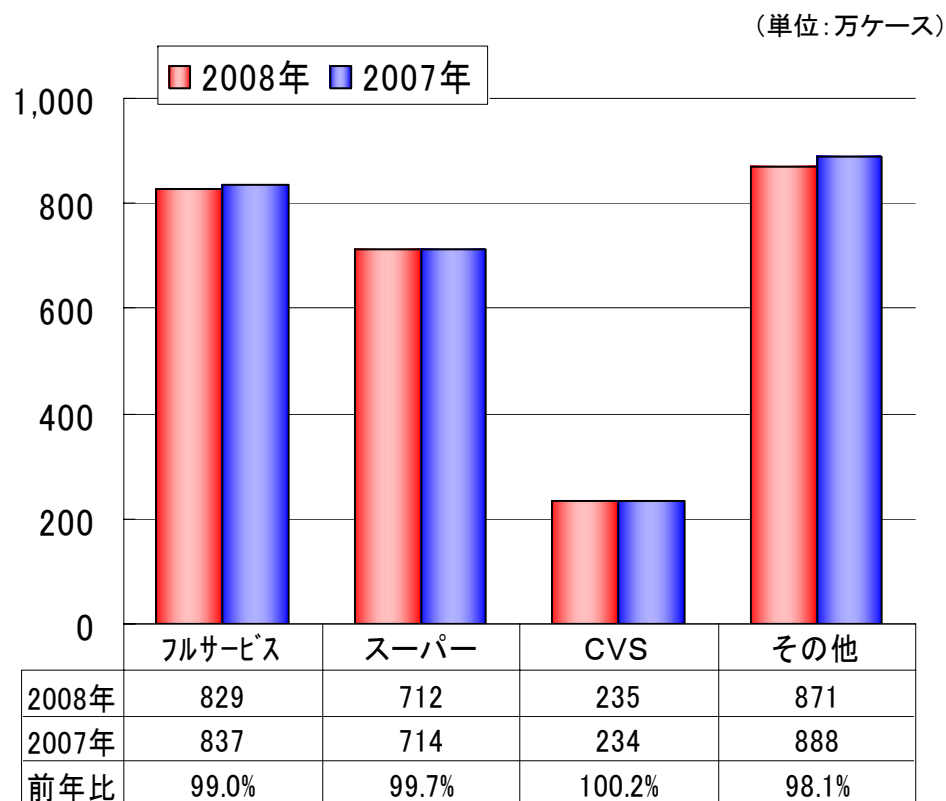
- F S 開発の遅れと撤収の増加

1～3月の開発の遅れと、マーケット競争激化による撤収が予想を上回り、純増台数が計画に届かなかった。

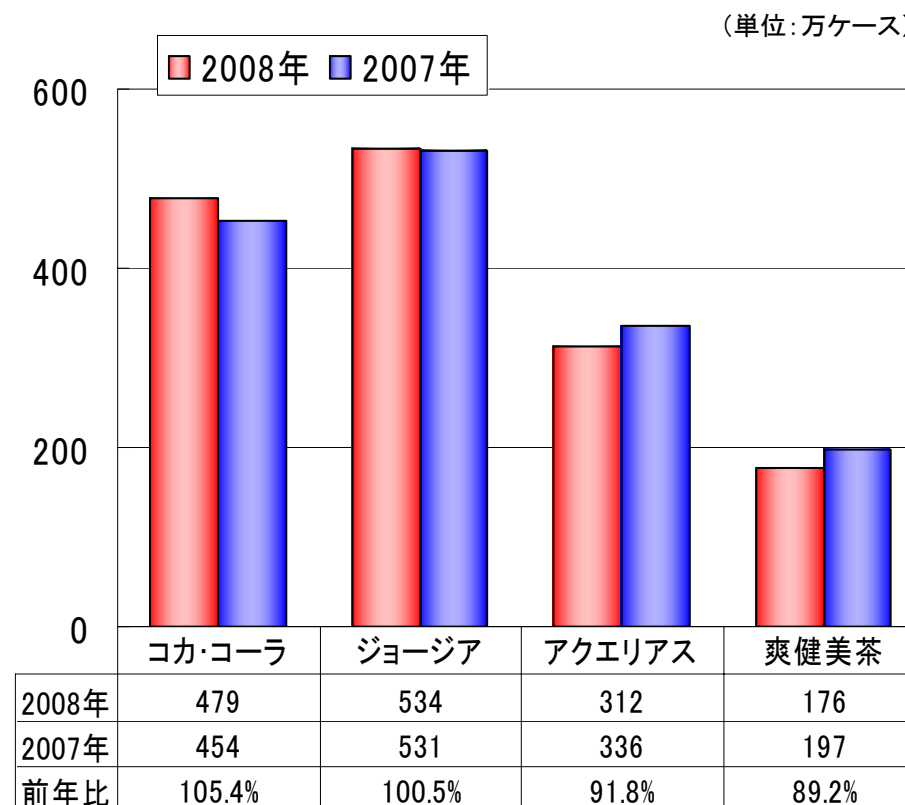
## 2. 重点チャネル／ブランド販売実績

*Jump!!!*

### ◆重点チャネル販売実績



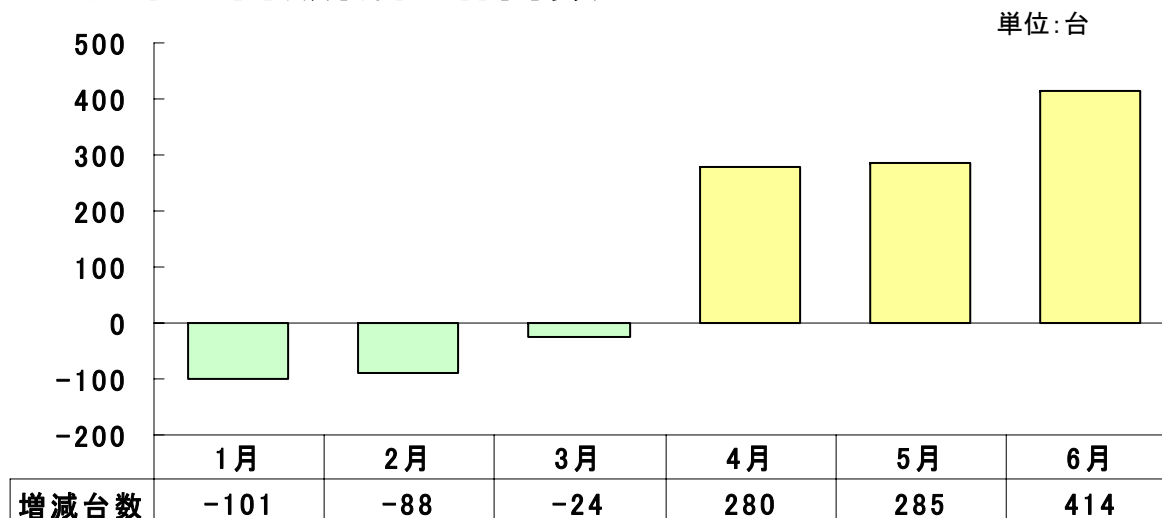
### ◆重点ブランド販売実績



### 3. フルサービスチャネル

**Jump!!!**

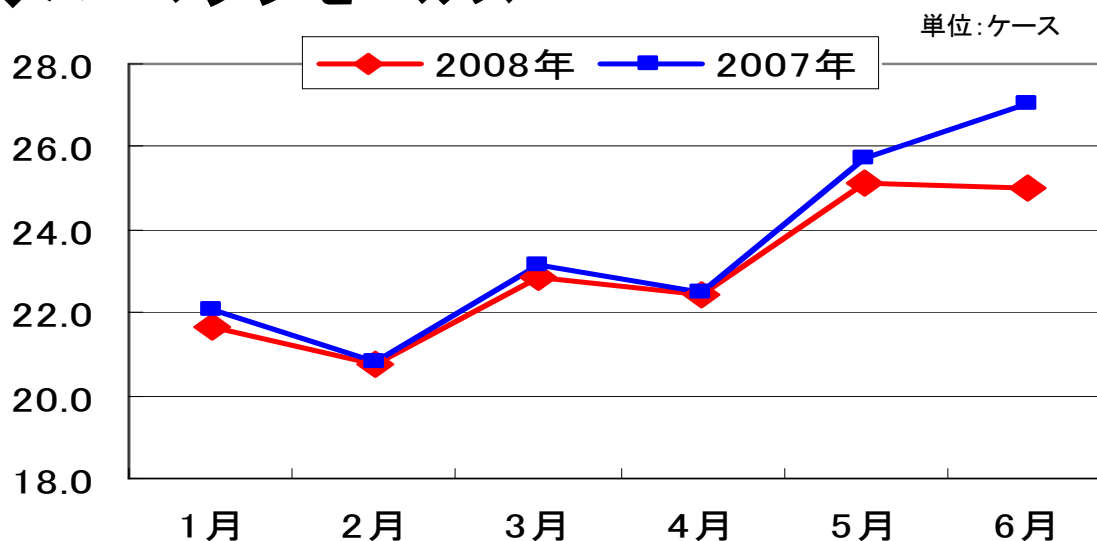
#### ◆月別自販機純増台数



4月よりマーケット構築  
最大化キャンペーン実施

1～6月累計 766台増加

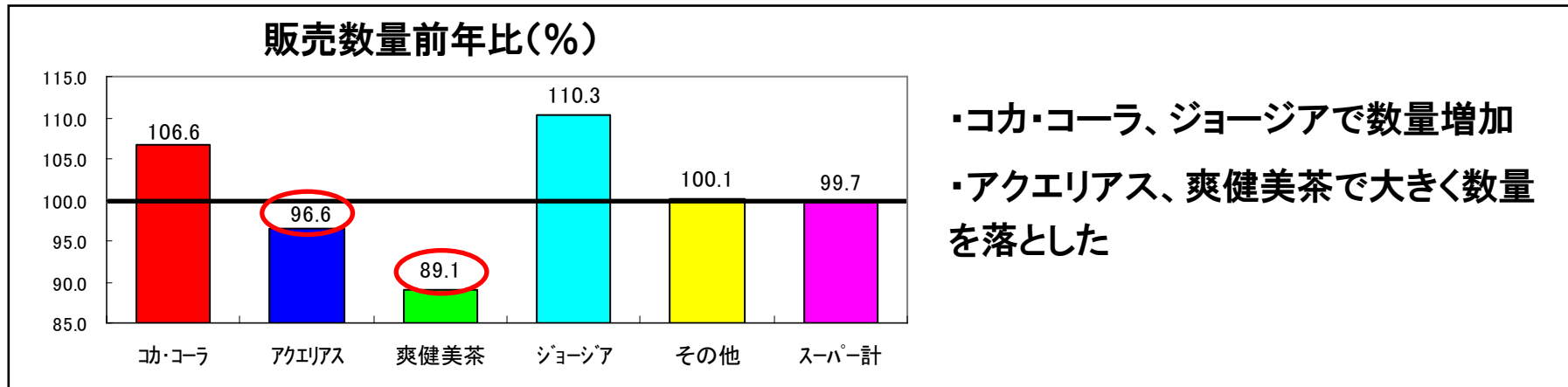
#### ◆パーマシンスールス



天候不順、消費の落ち込み  
の影響

# 4. スーパーチャネル

## 重点ブランド実績



## パッケージ別

単位: 千ケース

	2008.1-6	2007.1-6	前年差	前年比
大型ペット	4,428	4,496	-68	98.5
500MLペット	1,506	1,584	-78	95.1
小型ペット	99	75	24	131.6
他ボトル	46	55	-9	83.3
缶	926	820	106	112.9
パウダー	34	39	-4	88.6
その他	82	75	7	109.3
総計	7,121	7,144	-23	99.7

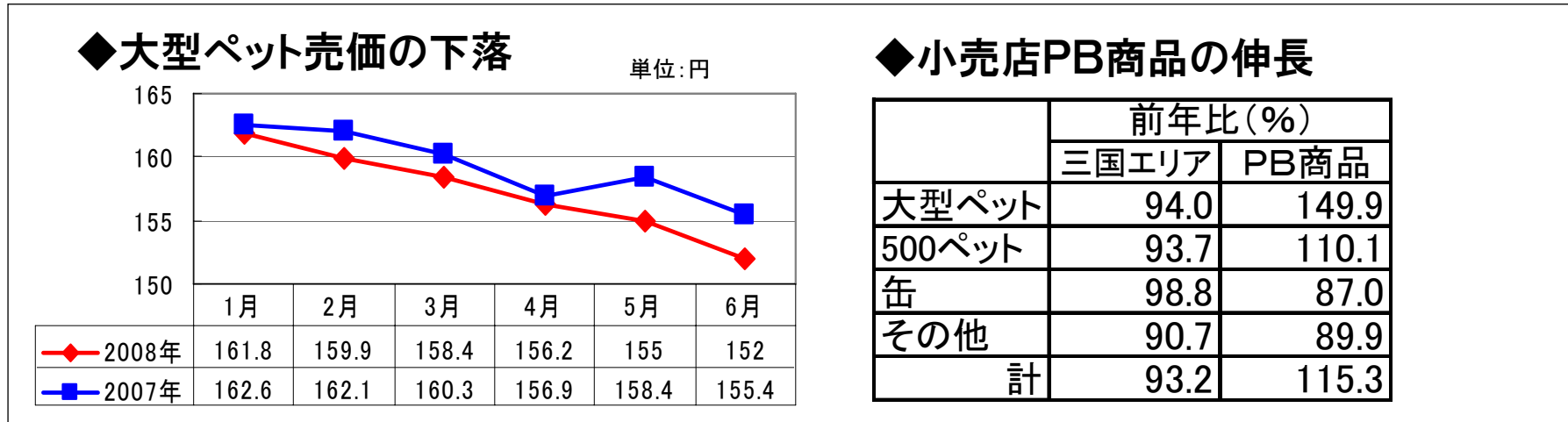
- ・ジョージア、ファンタふるふるシェイカーの貢献により、缶が伸長
- ・ペットボトルで数量を落とした
- ・特に500MLペットの落ち幅が大きい

# 4. スーパーチャネル



## ■市場動向(三国エリア)

出典: インテージ



## ■カテゴリー別シェア(三国エリア)

出典: インテージ

	三国エリア 前年比	コカ・コーラ シェア	前年増減
TOTAL	93.2	20.3	0.4
コーラ飲料	107.8	68.5	▲ 3.6
その他炭酸	99.4	28.8	▲ 2.7
果汁飲料	88.2	3.7	0.2
缶コーヒー	102.0	27.5	▲ 3.7
その他コーヒー	90.1	1.4	0.2
無糖茶	91.9	16.4	▲ 0.5
紅茶	101.6	3.1	1.2
スポーツ・機能性	88.9	49.5	2.8
ミネラルウォーター	92.8	10.2	1.3
その他	97.6	3.4	▲ 0.5

◆コーラ飲料  
市場は拡大したものの、当社シェアは▲3.6

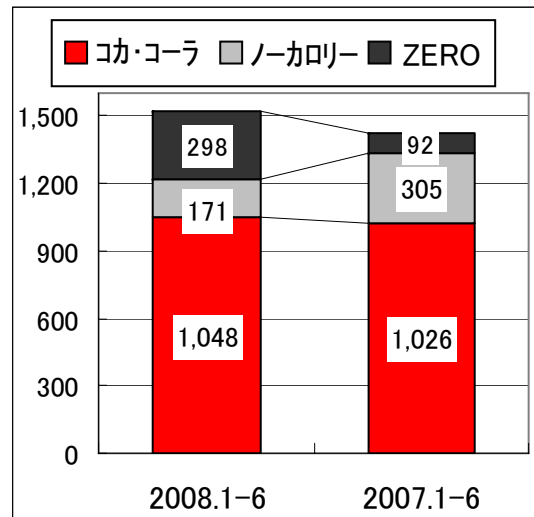
◆無糖茶  
市場は縮小し、当社シェアも▲0.5

◆スポーツ・機能性  
市場は縮小したものの、当社シェアは+2.8

# 4. スーパーチャネル

## ■ブランド詳細

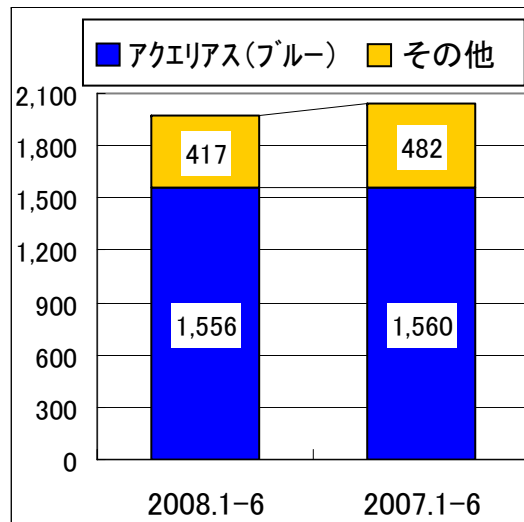
**コカ・コーラ**  
対前年 +94千ケース



➤ZERO(2007年6月4日発売)  
対前年 +206千ケース

シェアの下落と併せ、  
下半期へのリスク

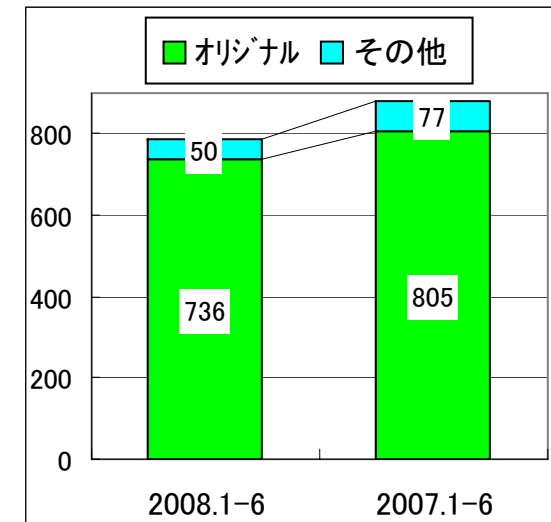
**アクエリアス**  
対前年 ▲70千ケース



➤アクティブダイエット  
対前年 ▲145千ケース

アクエリアスブルー以外のマイナス  
が大きな課題

**爽健美茶**  
対前年 ▲96千ケース



➤オリジナル  
対前年 ▲69千ケース

市場も縮小し、  
ブランド自体も不振

# 5. ジョージア

Jump!!!

## ■ 上期販売実績

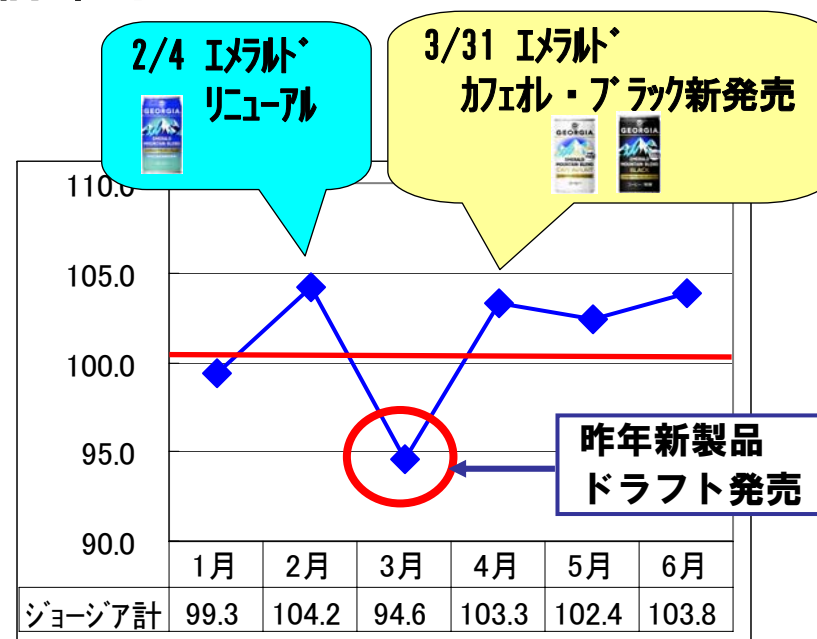
### チャネル別

単位：千ケース

	2008.1-6	2007.1-6	前年比
スーパー	488	443	110.3
CVS	707	704	100.4
酒食品店	394	434	90.9
その他	736	721	102.1
フルサービス	3,010	3,006	100.1
全社計	5,335	5,308	100.5

酒食品店以外で前年比プラス

### 前年対比



4-6月の販売実績は103.2%



## III. 通期計画

# 1. 利益計画

**Jump!!!**

## ■ 単体

単位: 百万円、千ケース、%

	2008年 通期計画	2007年 実績	対前年	
			増減	伸長率
販売数量	58,167	57,570	597	1.0
売上高	112,900	109,498	3,402	3.1
営業利益	4,100	3,735	365	9.8
経常利益	4,600	4,518	82	1.8
当期純利益	2,800	2,569	231	9.0

## ■ 連結

単位: 百万円、%


	2008年 通期計画	2007年 実績	対前年	
			増減	伸長率
売上高	129,900	129,593	307	0.2
営業利益	5,400	4,822	578	12.0
経常利益	5,400	5,010	390	7.8
当期純利益	3,100	2,755	345	12.5

## IV. 下期の重点活動

# 1. フルサービスチャネル

**Jump!!!**

## ◆下期の重点活動

<p><b>開発強化</b></p>	<p>マーケット構築最大化キャンペーン継続 -下期純増計画 1,530台 三国フーズ協働開発の更なる活動深化 -協働提案による新規獲得及び既存維持</p>
<p><b>パーマシンスールス 向上</b></p>	<p>データ分析に基づく個機コラム管理 -個機毎の重点ブランド及びカテゴリー別の投入商品管理 MD活動の徹底強化 -プロモーション浸透／消費者アピール強化</p>
<p><b>既存防衛</b></p>	<p>商流コミュニケーションの強化 -ベンダー通信の発行</p> 

# 1. フルサービスチャネル

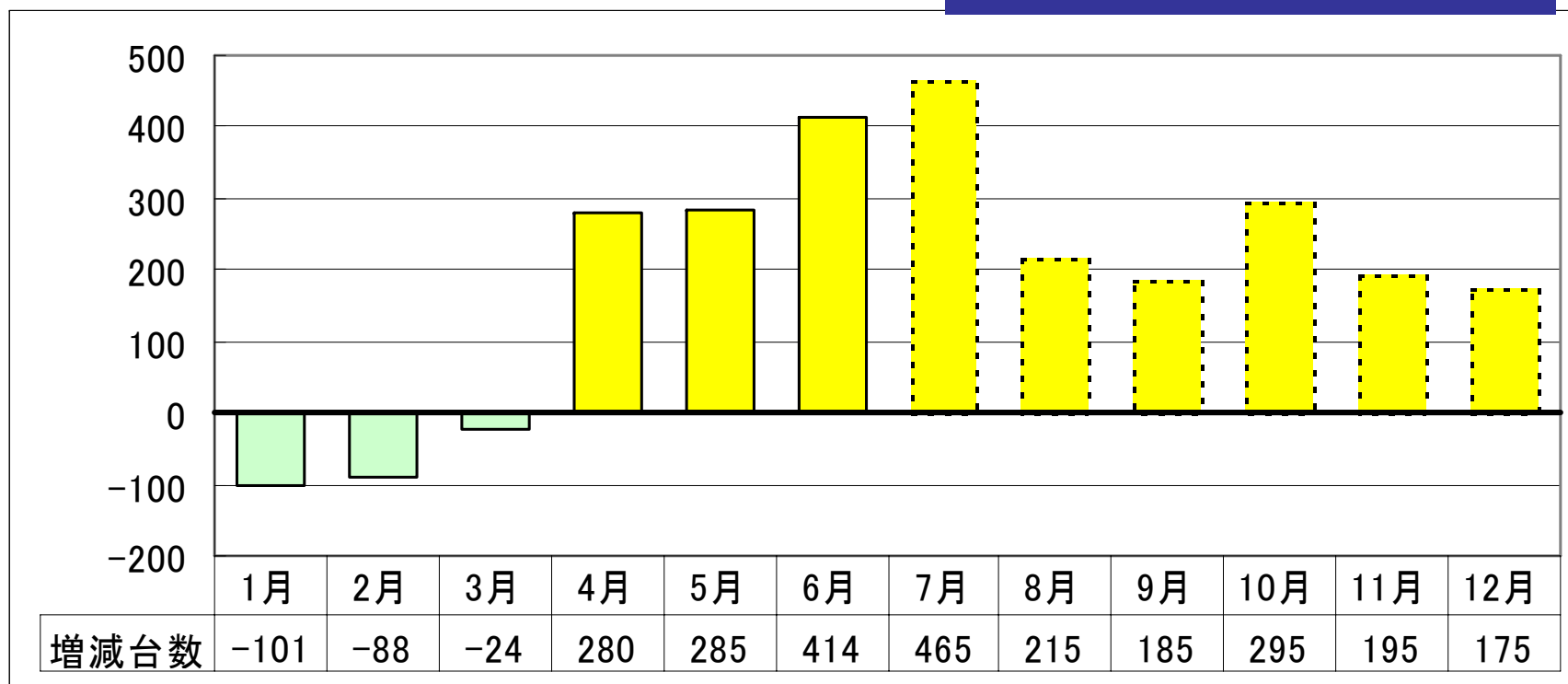
*Jump!!!*

## ◆下期開発計画

FS純増台数推移(7月以降は計画)

下期純増計画

1,530台



## 2. スーパーチャネル

**Jump!!!**

### ◆下期の重点活動

#### コカ・コーラのシェア奪回と基幹ブランドの強化

##### コカ・コーラ

- 戦略的販促及びチラシ獲得
- オリンピックの最大活用



7/14発売  
コカ・コーラ、コカ・コーラZERO  
2Lペットボトル限定発売

##### アクエリアス

- ZEROの拡大徹底
- オリンピックの最大活用  
(公式スポーツ飲料)



5/12発売 アクエリアスZERO

##### 爽健美茶

- 8月18日発売の新製品  
を徹底強化

8月18日発売予定



大型新製品

### 3. 酒・食品店

Jump!!!

#### ◆下期の重点活動

#### 取扱品目拡大・セールスマックスの改善

##### ミナクア500PETの取扱拡大

F Sデータに基づき、自販機  
で売れ筋製品の取扱を強化する



※7/21~27データ  
で、当社売れ筋No.1

##### ファン190缶の取扱拡大

業務店向けに、新規売上獲得を  
図る



# 4. オリンピックキャンペーン

Jump!!!

## ■全国プロモーション

北京オリンピック!  
コカ・コーラを飲んで

北京オリンピック! コカ・コーラを飲んで応募しよう!  
金メダル予想が  
当たればもらえる!!

その場で  
チャレンジ!!

10秒に1人アタル!!

世界で活躍する5人のアーティスト デザインTシャツ

Live Olympic on the **Coke** side of life. ~世界とつながろう、喜びをみんなと~

cocacola.jp

## ■特別パッケージ



## ■売り場展開





# 5. ジョージア対策

Jump!!!

## ■ 秋季全国プロモーション

ジョージア  
上出来  
カタログ  
2008

選んで、当てよう!  
毎日1000人×100日間

QRコードをカシャッと撮って、  
今すぐアクセス。 georgia.jp

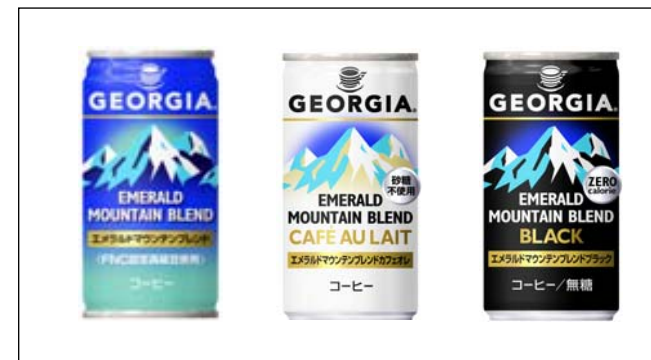
ENEOS  
YAHOO! JAPAN ポイント  
32V  
DVDソフト  
AUXILIARIES

今すぐアクセス! [georgia.jp](http://georgia.jp) 上出来 検索

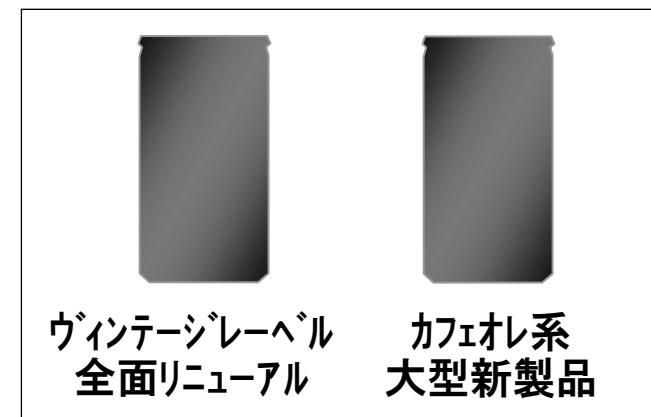
対象製品: 1stシールの付いているジョージア製品  
期間: 12月2日(火)24時まで

“上出来カタログ”をさらに強化

## ■ 3カラー展開の拡大



## ■ 新製品



## 6. コスト削減

*Jump!!!*

### BPRの水平拡大 3億円

- ・ 物流効率化施策
- ・ 携帯電話・プリンタ料金の見直し
- ・ 受注車の車種変更による燃料費/維持コスト削減
- ・ 廃棄物有価販売の拡大
- ・ 他

### 自販機経費の削減 1億円

- ・ ボトラー共同調達による調達コスト削減
- ・ 効率的な自販機投資
- ・ 中古部品の有効活用
- ・ 他

### その他 1億円

# 7. 営業利益獲得計画（単体）

*Jump!!!*

単位：億円

上期営業利益

8

下期営業利益（期首計画）

27

トレンドによるマイナス

▲ 3

営業施策による限界利益増加

+ 4

BPRの水平拡大

+ 3

自販機経費の削減

+ 1

その他経費の削減

+ 1

通期営業利益

41

## 8. 営業利益獲得計画（連結）

*Jump!!!*

### 三国コカ 単体の利益計画達成

- ・ 飲料拡大/飲料付随事業の拡大による  
関係会社へのシナジー効果

### 関係会社 各社の単体利益拡大

- ・ 各社独自の施策により、利益計画を達成

## V. 中期経営計画の進捗

# 1. 中期経営計画の概要

Jump!!!

ビジョン

日本一質の高い魅力あるボトラー

営業力のJump!

市場シェアを拡大し、エリア内No.1飲料メーカーとして他を圧倒する

売上総利益の増加

35~40億円(\*)

コスト競争力のJump!!

競争優位なコスト構造への進化

コスト削減

10~15億円

人材のJump!!!

環境の変化に対応し得る人材・組織への進化

労働生産性の向上

1人当たり約300万円増

2009年単体営業利益目標 45~55億円

※即引影響額を加味し、修正

## 2. 中期経営計画の進捗

**Jump!!!**

### 【1】営業力のJump!

- ・開発マネージャー12名増員
- ・グループ協働開発の推進
- ・MIX機401台、ネットワーク自販機446台設置

### 【2】コスト競争力のJump!!

- ・草の根運動継続 年間ベースで462百万円削減
- ・効率的な機器投資による償却費186百万円削減（前年対比）
- ・物流統合による在庫圧縮/事務の効率化

### 【3】人材のJump!!!

- ・人材育成プロジェクト立ち上げにより  
新人事制度と整合性のとれた教育体系を構築

### 3. グループ中期経営計画の進捗

*Jump!!!*

#### ◆グループ中計の進捗

##### 【協働・再編によるシナジー創出】

- ・ コーヒー事業の一元化による強化  
三国フーズのOCS部門をクリスタルコーヒーが継承
- ・ グループ内顧客の相互活用による売上拡大

##### 【新たなビジネスの展開】

- ・ 三国サービス インターネットショップ  
「ジャンプマート」開店
- ・ MLO グループ外物流業務の獲得



## VI. 株主還元策

# 1. 自己株式の取得について

**Jump!!!**

昨日の取締役会で、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議致しました。

◇目的

- ・株主への利益還元、資本効率の向上のため
- ・経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能とするため

◇取得株式数                    200万株(上限)  
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合3.98%)

◇取得価額の総額            24億円(上限)

◇取得期間                    2008年8月6日～2009年3月13日

※自己株式の保有状況(2008年6月30日現在)

- ・発行済株式総数(自己株式を除く)    50,292,885株
- ・自己株式数                                3,262,847株

この資料に掲載しております当社の計画及び業績の見通し、戦略などは、発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。あくまでも将来の予測であり、下記に掲げております様々なリスクや不確定要素により、実際の業績と大きく異なる可能性がございますことを、あらかじめご承知置きくださいますようお願い申し上げます。

- ・ 市場における価格競争の激化
- ・ 事業環境を取り巻く経済動向の変動
- ・ 資本市場における相場的大幅な変動
- ・ 上記以外の様々な不確定要素

We  "Water Planet"

*Coca-Cola*